



大阪大学
社会技術共創研究センター

大阪大学

年次報告書
2024.04.01-2025.03.31

2024

Osaka University
Research Center on
Ethical, Legal and
Social Issues

目次

組織概要	3	主なイベント	21
学内連携			
学内組織／研究者との連携	4	国際的活動	26
学内のDX事業に対する支援	8	発行物	27
教育・研修プログラムの提供	11	ELSIセンターが取り組む人材育成	29
学外連携			
ELSI共創プロジェクト研究活動費の公募	10	広報活動	30
人文・社会科学系の産学連携の拡大	11		
「メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所」設立決定	12		
産業界との連携（詳細）	13		
産業界との連携（人材交流）	17		
アカデミアとの連携	18		



組織概要

組織（2025年3月現在）

総合研究部門（福田雅樹 部門長）6名（兼任 20名、招へい 9名）

実践研究部門（岸本充生 部門長）11名（兼任 17名、招へい 9名）

協働形成研究部門（八木絵香 部門長）3名（兼任 5名、招へい 5名）

3つの部門と4つの機能

総合研究部門

ELSIの所在、ガバナンスの在り方、研究の方法論等に関し総合的に研究する

3 部門長 + 20 名（専門分野も多様）

情報通信法、ロボット法、AIと法、国際私法、憲法学、社会学、リスク学、科学社会学、情報法、臨床哲学、倫理学、社会学、情報の哲学、顔認証技術、科学史・科学論、科学哲学、科学技術社会論、科学コミュニケーション、音楽学

実践研究部門

学内・学外の研究者・事業者と連携し、共同研究プロジェクトを形成・推進する。

協働形成研究部門

学外のステークホルダーをつなぎつつ、幅広い市民の声を産業界・行政機関等につなぐ。

ELSI人材の育成

3部門が連携し、ELSI教育プログラムを開発。
ELSI人材を創出し、社会の中での定着を目指す。



情報科学研究科との連携 (*新規)

- 第16回 IST ネットワーキングイベント「ELSIを情報科学の味方につける：「技術的にできること」と「社会的にやってよいこと」をどう区別する？」(2024年5月29日開催)
- 岸本 充生 教授、長門 裕介 特任助教、カテライ・アメリア 特任助教が講演



レーザー科学研究所との連携 (*新規)

- ELSI共創プロジェクト研究「レーザー技術の社会的受容性の変遷：初期から現代までのケーススタディ」の推進
- 「レーザー核融合エネルギーの社会実装」に関する意見交換
- 共同研究講座「Blue Laser Fusionエネルギー共同研究部門」(2025年4月からは「Blue Laser Fusionエネルギー協働研究所」(予定))に岸本センター長が参加

健康スポーツ科学教育研究環との連携 (*新規)

- 受託が決定した、スポーツ庁の公募事業「令和6年度Sport in Life推進プロジェクト（先端技術を活用したコンディショニング基盤実証研究）」の有識者委員に岸本センター長が就任
- 2025年12月17日開催のキックオフミーティングにセンターメンバーが参加

COデザインセンターとの連携

- COデザインセンターが提供している副専攻プログラム／高度副プログラム「公共圏における科学技術政策」(STiPS)、高度副プログラム「科学技術と倫理的・法的・社会的課題(ELSI)」と連携し、授業やイベントに、ELSIセンターメンバーが参加・協力
 - セミナーシリーズ「つなぐ人たちの働き方(2024年度冬)」(授業「実践者から学ぶ科学技術コミュニケーション」の一環として実施)を共催
 - COデザインセンター運営協議会に岸本センター長が参加
- など

社会ソリューションイニシアティブ(SSI)との連携

- 中之島センターの5階「いのち共感ひろば」を共同で管理
 - 社会ソリューションイニシアティブ運営会議メンバーに岸本センター長が参加
- など

中之島芸術センターとの連携

- 中之島芸術センター・ELSIセンター共創企画「アート×ELSIを考える vol.3」を開催(2024年5月20日)
 - 中之島芸術センターシンポジウム内のセッション「生成AIによる芸術 その価値と創造主体」を共催(2025年3月7日)
- など

世界トップレベル研究拠点(WPI)「ヒューマン・メタバース疾患研究拠点(PRIMe)」との連携

- 岸本センター長がELSI研究分野におけるPIとして参画
 - ワークショップ「バイオデジタルツイン技術を用いた未来の医療～もう一人の自分がいたら何ができる？」を共催(2024年7月20日)
- など

法学研究科との連携

- ・福田雅樹教授が兼担し、大学院法学研究科及び法学部において「総合演習（立法学）」、「特別講義（立法学）」等の授業を担当（2020年度～）

先導的学際研究機構「新たな防災」を軸とした命を大切にする未来社会研究部門との連携

- ・福田総合研究部門長が兼担し、運営会議に参画。ELSIを踏まえた都市防災DXの在り方の検討に関し、ELSIセンター総合研究部門が先導的学際研究機構「新たな防災」を軸とした命を大切にする未来社会研究部門と連携（2022年度～）

産業科学研究所との連携

- ・大阪大学産業科学研究所の家裕隆教授が研究代表者であるJST未来社会創造事業「発電と農業を融合した太陽光エネルギー有効利用システムの開発」に福田総合研究部門長、倉田招へい教授、三部招へい教授、山本招へい教員及び日原特任助教（常勤）が研究開発参加者として参加（2022年度～2024年度）

医学系研究科保健学専攻との連携

- ・福田雅樹教授がAI活用による産前からの縦断的児童虐待リスク判定と体制構築に向けた基礎研究におけるELSI研究に参画（2023年度～）

感染症総合教育研究拠点（CiDER）との連携

- ・SpringX 超学校 エビデンスと共に考える「いのち」と「くらし」を豊かにする講座 season2で、第4回 リスク学のすすめー「技術的にできること」と「社会的にやってよいこと」の線引きを考えるーを岸本センター長が講演（2025年11月29日）

D3センターとの連携

- 画像生成AIのバイアスに関する共同研究を実施し、AI and Ethics誌に論文“Situating the social issues of image generation models in the model life cycle: a sociotechnical approach”が掲載（2024年7月）
- スペイン大使館のイベントで共同でポスター発表“A socio-technical investigation of the issues of image generation models”（2024年11月11日）

スチューデント・ライフサイクルサポートセンター（SLiCSセンター）との連携

- SLiCSセンターシンポジウムにおいて「教育DXにおけるELSIの課題」を講演（2025年3月18日）

数理・データ科学教育研究センター（MMDS）との連携

- AI・データ利活用研究会 第80回において、赤坂 亮太 准教授が「AIと著作権法」を講演（2024年11月15日）

エマージングサイエンスデザインR3センターとの連携

- 「社会受容性特論A」において講義・グループ討論「ELSIという観点からみた新興技術の社会実装」を岸本センター長が実施（2024年6月8日）

研究オフィスとの連携

- 非医学系の研究倫理審査のあり方についての研究会を開催

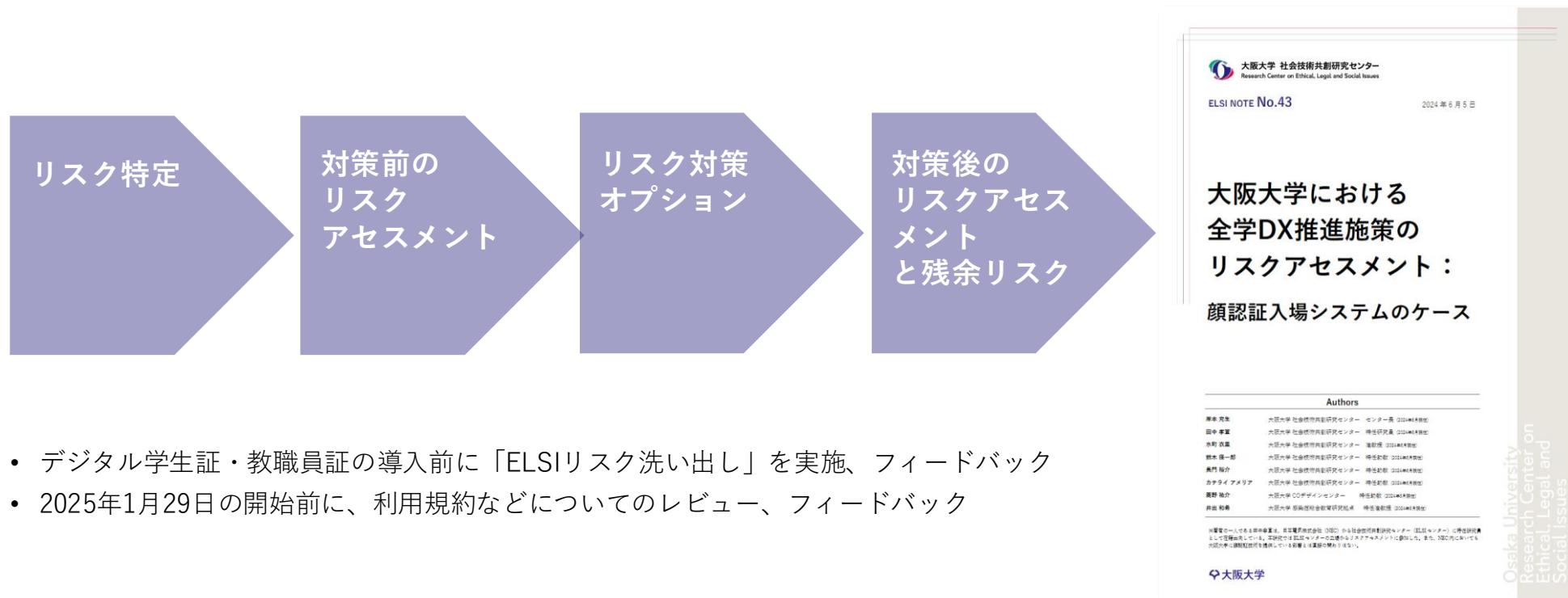


学内連携

学内のDX事業に対する支援

OUDX推進室との連携

- 隔週でOUDX推進室メンバーから進捗状況を聞き取り、ELSI観点からの議論
 - 特に、顔認証入場システム（2024年6月から学内27か所で試行開始）について、2024年1月から3月ころまでリスクアセスメントを実施
 - ELSI NOTE No.43「大阪大学における全学DX推進施策のリスクアセスメント：顔認証入場システムのケース」を公開（2024年6月）
 - 学内オンライン説明会において、実施したリスクアセスメントについて紹介



アンコンシャス・バイアス研修「新規技術の社会実装からみるDE&I－ELSIセンターでの取り組み」

- アンコンシャス・バイアス研修「新規技術の社会実装からみるDE&I－ELSIセンターでの取り組み」において、岸本 充生 センター長が講演
- 教職員・学生等約188名が参加

大阪大学SEEDSプログラムへの高校生向けワークショッププログラムの提供

- 講義「新しい科学技術が社会に受け入れられるためには？」（2024年8月4日実施）
(担当：岸本 充生 センター長)
- SEEDS2024分野横断型ワークショップ「『脱炭素社会に向けた動き』をいろんな側面から考えてみる」（2024年9月21日実施）
(担当：八木 絵香 教授、他)

大学院等高度副プログラム「科学技術と倫理的・法的・社会的課題（ELSI）」の提供

- 2023年度より、大学院等高度副プログラムの1つとして、「科学技術と倫理的・法的・社会的課題（ELSI）」（開講部局：大阪大学COデザインセンター）の提供が始まり、社会技術共創研究センター（ELSIセンター）も連携部局としてプログラムの実施に参加
- ELSIセンターメンバーが、COデザインセンター開講科目「倫理的・法的・社会的課題（ELSI）入門：理論編」、「倫理的・法的・社会的課題（ELSI）入門：実践編」などに参加・協力など

～ アンコンシャス・バイアス研修 ～
<講演タイトル>
「新規技術の社会実装からみるDE&I－
ELSIセンターでの取り組み」

9.10 (火) 開催
13:30-14:30

内 容

大阪大学 全教職員・学生対象
～特に男女差異意識・偏見の実態を把握～

大阪大学は、DE&I実践セミナーズの実施に向けて、誰もがいきいきと学び、ぐんぐんできるキャンパスの実現を目指して、講義や研修を通じた大学構成員への啓発活動、制度の見直し等を積極的に進めてています。
今回は、自分の身の上のアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に対する意識の低さや、マジックテープの無意識の偏見について認知を深めます。

講 師
岸本 充生 氏
大阪大学 社会技術共創研究センター長

社会技術共創研究センターHP
<https://csei.osaka-u.ac.jp/>

開講セミナー
講義料を支払う際には、生じる各種的・法的・社会的課題（ELSI）をあらかじめ提出し、了承することが求められ、一見問題ないテーマに見えても、「問題ない」という思いの自体が「特權・法的・側面からの視点に過ぎない」可能性意識。そこから隠されているマイノリティの存在や潜在的な思いでいる問題意識を引き出す。
何よりもELSIは重要な要素であり、少しでもESIを考慮する際のメンバーのダイバーシティも重要な要素である。ELSIはという切り口やその中でDE&Iを検討することについて具体的な事例を挙げながら考えてきました。

問い合わせ先
ダイバーシティ＆インクルージョンセンター／企画部ダイバーシティ推進課
<https://diversity.osaka-u.ac.jp/>





ELSIセンター兼担教員との連携強化などを目的として、2024年5月より学内公募を行った。7件のプロジェクトが実施された。

メタバース上のアバターの諸活動とパブリシティ権 研究代表者：青木 大也（法学研究科）

グローバルな視点による生成AIガイドラインに関する考察：日本、中国、アメリカの大学の比較 研究代表者：李 明（学際大学院機構）

生活に根差した技術と芸術の研究：日本哲学の立場から 研究代表者：織田 和明（情報科学研究科）

A socio-technical approach to the issues of image generation models 研究代表者：Garcia Docampo Noa（データビリティフロンティア機構）

大学の国際化に向けたAI利活用した入試におけるELSI研究 研究代表者：LI Yan（グローバルイニシアティブ機構）

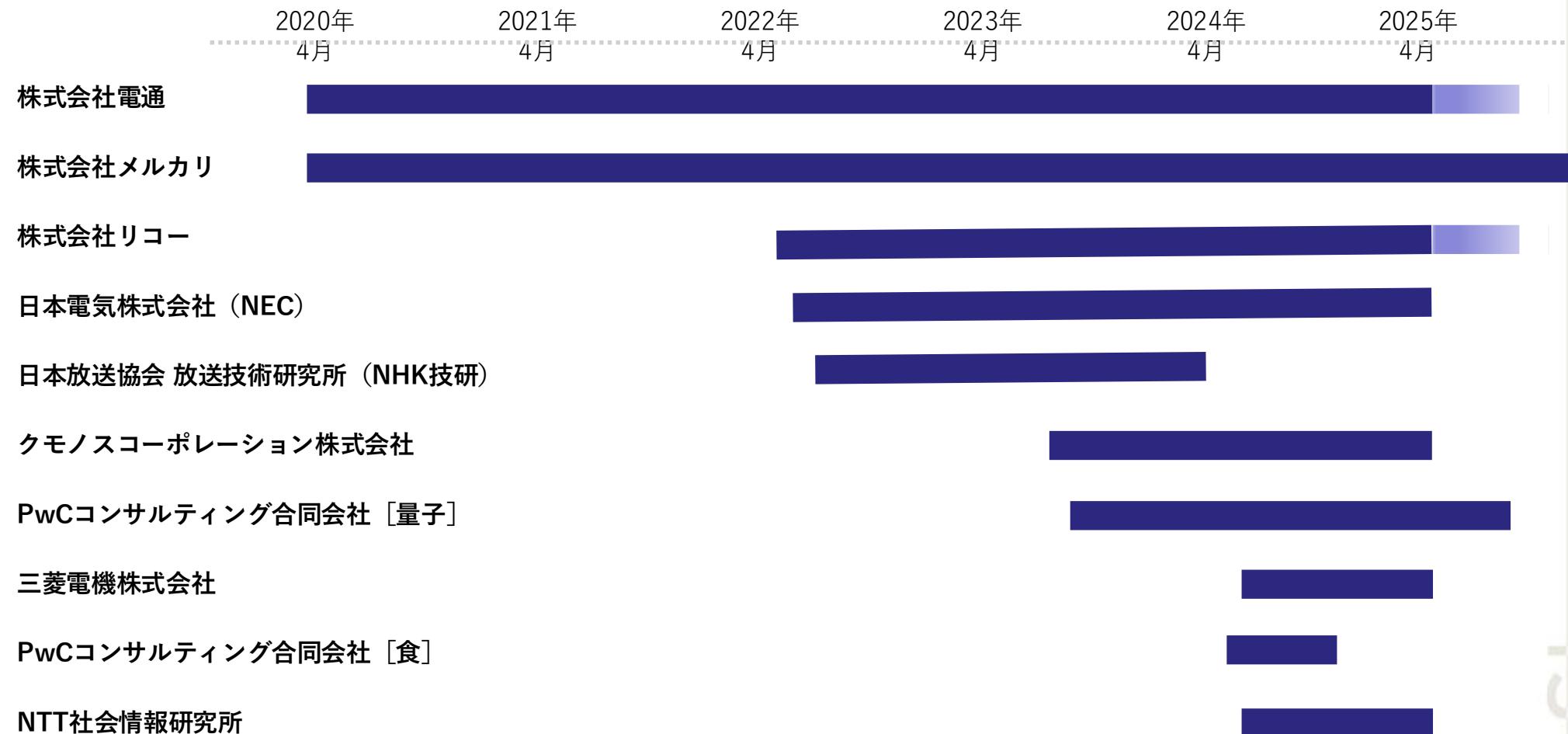
諸芸術領域におけるAI利用：ELSI論点抽出と共創プラットフォームの構築に向けた協働実践 研究代表者：肥後 楽（ELSIセンター）

レーザー技術の社会的受容性の変遷：初期から現代までのケーススタディ 研究代表者：筑本 知子（レーザー科学研究所附属マトリクス共創推進センター）

学外連携

人文・社会科学系の产学連携の拡大

新規技術に係るELSIやガバナンスのあり方などを総合的に研究するとともに、実践の支援を通じた研究活動を展開。
2020年4月以降、9社（10件）の共同研究・受託研究などを実施。



2025年7月1日、大阪大学ELSIセンターに「メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所」を設立

- 2025年1月現在、24の協働研究所が大阪大学内に設置されている中で、**人文社会科学系の協働研究所の設置は初**
- 人文社会科学の知見を通じて、あらゆる価値が循環する社会への道を示す
- 2025年1月30日、プレスリリース



大阪大学 ELSIセンターに 「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」を設立 人文社会科学の視点から「あらゆる価値が循環する社会」の実現へ

概要
国立大学法人大阪大学（以下、大阪大学）と株式会社メルカリ（以下、メルカリ）は、2025年7月1日に、大阪大学社会技術共創研究センター（以下、大阪大学 ELSIセンター）に「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」（以下、本研究所）を設立します。2025年1月現在、24の協働研究所が大阪大学内に設置されていますが、人文社会科学系の協働研究所の設置は初めてです。
人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションである「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」設立の背景
昨今、生成AI・LLMに代表される新たな科学技術の台頭・劇的な進歩により、それらが社会にもたらす影響の予測不可能性は拡大し続けています。これに伴い、社会実装の段階において、技術的な観点のみならず、社会実装後に予期される課題やインパクトについて検証する必要性が高まっています。倫理学や法學、社会学、哲学といった人文社会科学の多様な視点を織り交ぜながら、企業側が責任を持って企業活動やサービス開発を検証していくことが重要です。

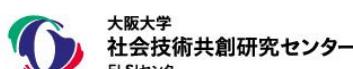
メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所



大阪大学 ELSIセンターは、2020年よりメルカリの研究開発組織「mercari R4D（アールフォーティー）」と、研究活動や企業活動を対象とした ELSI (ELSI: Ethical, Legal and Social Issues: 倫理的、法的、社会的課題)に関する共同研究を進めています^{※1}。メルカリにおける研究開発倫理審査の高度化^{※2}や、AI倫理^{※3}、男女間賃金格差は正の取り組みに関するケーススタディ^{※4}など、人文社会科学分野の研究開発を行ってきました。

この度、「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」では、これまでの研究をさらに発展させ、人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションでもある「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

※1: 大阪大学 ELSIセンターウェブサイト内「共同研究プロジェクト」「企業における研究倫理審査や人材育成等の実践的方法論の構築」のページ



株式会社電通からの受託研究

- 受託研究「データビジネスにおけるELSIに関する研究」（2021年1月～）の継続
- パーソルテンプスタッフ株式会社にて「ELSIワークショップ」の実施（2024年12月）
- パーソルキャリア株式会社のAI倫理指針作成のレビュー（進行中）

※2025年4月以降も継続予定



株式会社メルカリとの共同研究

- 共同研究「Co-innovationで切り拓く、最先端の研究・ビジネス領域の社会実装を加速させるELSI実践研究～ELSI対応なくしてイノベーションなし～」を継続（2021年4月～2026年3月）
- mercari R4Dが運営するYouTubeチャネルで、[工藤 郁子 特任准教授が登場する動画「研究者と読み解く、メルカリが取り組んだ『男女間賃金格差』解決への挑戦」](#)が公開（2024年8月30日）
- [ELSI Forum with mercari R4D 「ELSIセンター×メルカリ：企業と進める人社系研究の今」](#)を開催（2024年7月19日）
- 学術誌『AI and Ethics』に、関連論文の掲載。Katirai & Nagato (2024). Addressing trade-offs in co-designing principles for ethical AI: perspectives from an industry-academia collaboration. (2024年5月発行)
- [ELSI NOTE No.40 「Go Bold な研究開発を支える倫理審査のための申請書導入：mercari R4Dにおける取り組み」](#)を公開（2024年4月）

など

※2025年6月まで継続予定・2025年7月から協働研究所発足



日本電気株式会社（NEC）との共同研究

- 共同研究「顔認識技術の社会実装における社会技術の研究」（2022年7月～2025年3月）の継続
- NECから特任研究員の受け入れ（在籍出向）（2023年5月～2025年3月）
- [プレスリリース「大阪大学ELSIセンターとNEC、顔認証技術の適正利用に向けたガイドおよびリスクアセスメント手法を策定～2024年4月よりNECにおける顔認証事業で検証開始～」](#)（2024年5月9日公開）

など



株式会社リコーとの共同研究

- 共同研究「人を対象としたデジタルサービスにおけるELSIガバナンスの研究」（2023年5月～2025年3月）の継続
- 株式会社リコーの構成員を対象にした「技術倫理シンポジウム」に、ELSIセンターメンバーが登壇（2024年12月5日実施）

など

※2025年4月以降も継続予定



PwCコンサルティング合同会社との共同研究（その1）

- 共同研究「Responsible Quantum Innovation（責任ある量子技術開発）」（2023年9月～2025年8月）の継続
- PwCコンサルティング合同会社のウェブサイトにて、コラム「責任ある研究とイノベーション（RRI）が導くあるべき未来」（全3回）の掲載（2024年3月27日から4月5日）
- [ELSI NOTE No.41 「量子技術のELSIを探る：文献レビュー」](#)を公開（2024年5月9日）
- [ELSI NOTE No.45 「RRI概念の発展小史：ELSIとの繋がりから理解する」](#)を公開（2024年9月）
- [ELSI NOTE No.48 「イギリス規制ホライズン委員会：量子技術応用を規制する（日本語訳）」](#)を公開（2024年10月）
- PwCコンサルティング合同会社のウェブサイトにてレポートを公開「インパクトを追求する社会を支える「責任ある研究とイノベーション」～第二次量子革命が引き寄せた新たなガバナンス構築の波～」（2024年11月8日）

など

※2025年4月以降も継続予定



クモノスコーポレーション株式会社との連携

- 令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）「AIノイズ除去技術を用いた点群データによる3Dバーチャル空間サービスシステムの研究開発」総括研究代表者：牧宏明（クモノスコーポレーション株式会社）（2023年8月～2025年3月）の継続
- [ELSI NOTE No.44 「点群バーチャル空間サービス及び点群バーチャル観光サービスに係るELSI論点の整理」](#)を公開（2024年8月）
- 「点群バーチャル空間サービスに係る倫理的・法的・社会的課題（ELSI）に関するガイドライン」及び「点群バーチャル観光に係るELSIガイドブック」を作成（2025年3月）

など



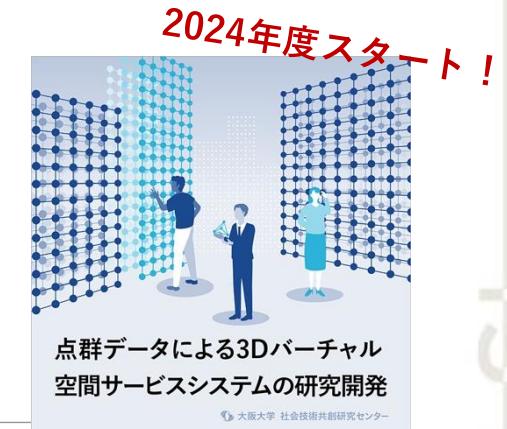
PwCコンサルティング合同会社との共同研究（その2）

- 共同研究「食に関する新規技術に対して人々が抱く価値観や概念の抽出と分析」（2024年4月～2024年9月）
- ELSI NOTE No.50「昆虫飼料の利用に関する認識と価値観：小学生に対する教育実践とアンケート調査による前後比較」を公開（2024年11月6日）
- 業界紙「養鶏の友」に関連論文の掲載（2025年3月）。井出和希、鹿野祐介、岸本充生「昆虫飼料に対する認識と価値観：小学生を対象とした教育実践とアンケート調査の概要」



三菱電機株式会社との共同研究

- 共同研究「生成AIユースケースに対するELSIリスク評価の研究」（2024年5月～2025年3月）の開始



NTT社会情報研究所との共同研究

- 共同研究「ELSIを考慮した事業リスク評価」（2024年7月～2025年3月）の開始
- Computer Security Symposium 2024において、発表。亀石 久美子、瀬野 恭彦、狩野 俊明、岸本 充生「自治体スマートシティのデータ連携基盤におけるガバナンス及びプライバシー影響評価についての検討」（2024年10月23日）
- 情報処理学会第107回EIP研究発表会において、発表。亀石久美子、原口和徳、瀬野恭彦、川渕聰士、石田龍、井上滉大、狩野俊明、岸本充生「データ連携基盤におけるELSIを踏まえたリスクアセスメント手法の実践」（2025年2月13日）

など



学外連携

産業界との連携（人材交流）

共同研究先のNECから特任研究員が在籍出向中（2025年3月まで）

- 2024年6月、日本リスク学会 春季シンポジウムにて、講演
「リスクアセスメント事例～大阪大学の顔認証入場システム～」
- 2024年11月、日本リスク学会 年次大会にて、口頭発表
「その生体データ利活用、大丈夫？」
- COデザインセンターが開講する科目「倫理的・法的・社会的課題（ELSI）入門：理論編」、「倫理的・法的・社会的課題（ELSI）入門：実践編」、「実践者から学ぶ科学技術コミュニケーション」のゲスト講師
など

株式会社メルカリの研究開発組織「mercari R4D」とクロス・アポイントメント、実施中（2025年3月まで）

「mercari R4D」、大阪大学ELSIセンターと产学のコミュニティを超えた人材交流を開始



～人文社会科学系の研究者を受け入れ、新興技術を社会実装するためのELSIへの取り組みを強化～

株式会社メルカリ（以下、メルカリ）の研究開発組織「mercari R4D（アールフォーディー）」（以下、R4D）は2023年8月1日より、大阪大学社会技術共創研究センター（以下、大阪大学ELSIセンター）と、クロス・アポイントメント協定を締結し、产学のコミュニティを超えた組織間の人材交流（以下、本取り組み）を開始することをお知らせいたします。本取り組みは、产学での深い交流を通じて、ELSI（倫理的・法的・社会的課題／Ethical, Legal and Social Issues（エルシー））研究のさらなる強化を目指しており、8月より大阪大学ELSIセンターに在籍する研究者1名がメルカリでの業務に従事いたします。



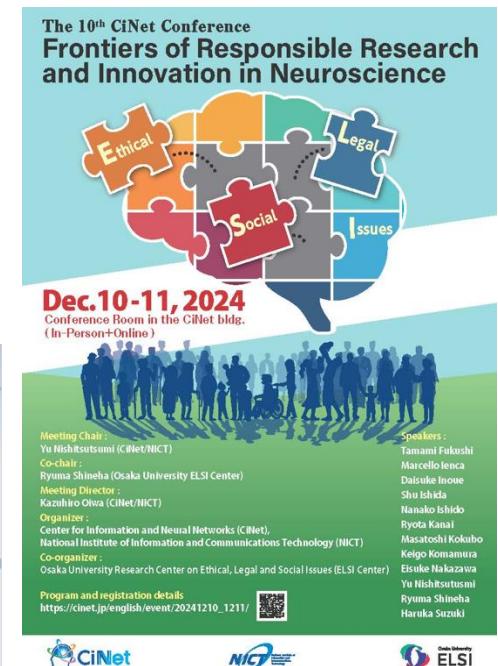
研究プロジェクト「教育データ利活用EdTech（エドテック）のELSI対応方策の確立とRRI実践」

- JST-RISTEX『科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム』に採択
- 滋賀大学、南山大学、岡山大学、京都大学、埼玉大学、福岡大学など、他大学の研究者との連携
- 「大阪大学共創DAY@EXPOCITY 2024」（2024年6月29日開催）に、ブース「どうなる！？未来の学校！！2024」を出展
- サイエンスアゴラ in 滋賀「どうなる？どうする！？教育DX」を実施（2024年12月8日）など



脳情報通信融合研究センター（CiNet）との共同研究「脳情報通信融合分野をめぐるELSI」

- 共同研究「脳情報通信融合分野をめぐる倫理的・法的・社会的課題（ELSI）」（2022年12月～2026年3月）
 - The 10th CiNet Conference: - Frontiers of Responsible Research and Innovation in Neuroscience
- 開催（2024年12月10-11日）
- など



研究プロジェクト「身体的共創を生み出すサイバネティック・アバター技術と社会基盤の開発」

- ムーンショット型研究開発事業 ムーンショット目標1 「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」に採択（研究代表者：南澤孝太（慶應義塾大学））（2020年12月～2025年11月）



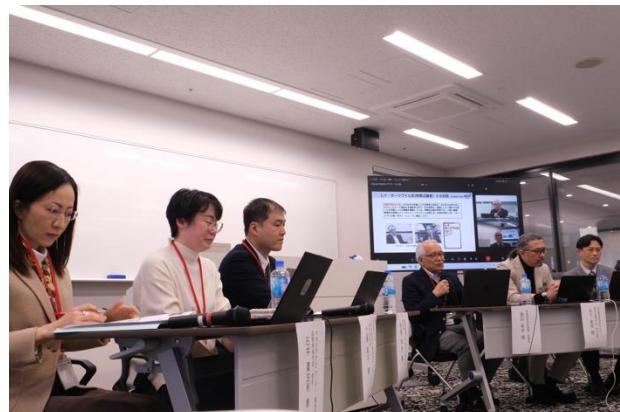
GPAI (The Global Partnership on Artificial Intelligence) 東京専門家支援センター 原山 優子センター長らとの意見交換会の実施

- GPAI東京専門家支援センター（東京ESC）原山 優子 センター長ら12名が大阪大学ELSIセンターを訪問（2024年10月3日）
- 今後の両機関における連携のあり方について、意見交換



中央大学ELSIセンターとともに、「ELSI大学サミット」を共同開催

- ・中央大学後楽園キャンパスにおいて、「ELSI大学サミット」を共催（2025年3月15-16日）
- ・AIを中心とした倫理的、法律的、社会的課題の取り組みを産学官が発表
- ・岸本充生 センター長、赤坂亮太 准教授、工藤郁子 特任准教授が登壇



主なイベント（シンポジウム、ワークショップ等）

ELSI Forum with mercari R4D

「ELSIセンター×メルカリ：企業と進める人社系研究の今」（2024年7月19日）

- 2020年9月からに進めてきた株式会社メルカリの研究開発組織 mercari R4Dとの共同研究の成果を紹介しつつ、今後の展開を大阪大学のみなさんと一緒に考える
- 第1部では、共同研究の経緯や成果を紹介
- 第2部は交流セッションとして、研究を紹介するポスターを掲示しつつ、参加者のみなさまとの意見交換



主催：大阪大学 社会技術共創研究センター（ELSIセンター）、株式会社メルカリ mercari R4D



主なイベント（シンポジウム、ワークショップ等）

ELSI Forum 2024

ワークプレイスのための『社会技術』：働く場に持ち込まれる新規技術とそのELSI（2025年1月24日）

- ・働く場に持ち込まれる技術とそのELSIについて、具体的な事例や理論的背景など、様々な角度から考える
- ・第1部では、ELSIセンター 研究者による話題提供、また、ELSIセンターと共に研究を進めてきた企業側パートナーから、具体的な事例の紹介
- ・第2部では、働く場に持ち込まれる技術とそのELSIや、それぞれのELSI対応の実践について、参加者と意見交換

趣旨説明「ワークプレイスに導入される新規科学技術のELSIに注目する」岸本 充生（大阪大学ELSIセンター センター長）

事例紹介「生成AI利活用におけるガバナンス・ELSIリスク対応に向けて」関口 俊一（三菱電機株式会社 AI戦略プロジェクトグループ Chief Expert）

話題提供「アバターロボットを用いた働き方と法・政策」赤坂 亮太（大阪大学ELSIセンター 准教授）

話題提供「職場における監視にまつわる倫理的な課題」長門 裕介（大阪大学ELSIセンター 特任助教）

話題提供「職場における監視の背景とその影響」カテライ アメリア（大阪大学ELSIセンター 特任助教）

主催：大阪大学 社会技術共創研究センター（ELSIセンター）

協力：大阪大学COデザインセンター

後援：公共圏における科学技術・教育研究拠点（STiPS）



主なイベント（シンポジウム、ワークショップ等）

「大阪大学共創DAY@EXPOCITY 2024」内企画 「どうなる！？未来の学校！！2024」（2024年6月29日）

- ・「大阪大学共創DAY@EXPOCITY 2024」（主催：大阪大学）（2024年6月29日開催）において、ブースを出展
- ・JST/RISTEX「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム」研究開発プロジェクト「教育データ利活用EdTech（エドテック）のELSI対応方策の確立とRRI実践」の一環として実施
- ・教育データを利活用する EdTech（Educational Technology, エドテック）の具体的な事例（海外事例も含む）を紹介しつつ、来場者から未来の学校にまつわるエピソードや意見を“お便り”という形式で募集。集まった“お便り”を元に、会場では、ラジオ番組風のトークセッションを開催
- ・ブース来場者は約660名。集まった“お便り”は33通、子どもたちが書き込んでくれた100枚以上の付箋

出展者：大阪大学 社会技術共創研究センター（ELSIセンター）

企画：大阪大学 社会技術共創研究センター（ELSIセンター）

デザイン・イラスト：アトリエ・カプリス

協力：公共圏における科学技術・教育研究拠点（STiPS）



そのほかのイベント 1

ELSIセンター研究会

3件

- ・「アートELSIを考える—AIと音楽をめぐる人社系研究の国際的動向」（2024年8月5日）
- ・「ELSIへのシリアルスゲーム／ゲーミフィケーションからのアプローチ」（2025年2月10日）
- ・「絵画制作における『意図』と『創造性』」（2025年2月28日）

大阪大学中之島芸術センターとの共同開催 1件

- ・中之島芸術センター・ELSIセンター共創企画「アート×ELSIを考える vol.3」（2024年5月20日）

シンポジウム「大学におけるELSIをめぐる取組の実際と展望」 1件

- ・シンポジウム「大学におけるELSIをめぐる取組の実際と展望」（主催：横浜国立大学国際社会科学府国際経済法学専攻、横浜国立大学ELSI研究拠点及び大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門）（2025年3月24日）



そのほかのイベント 2

共催イベント

10件

- ・ワークショップ「気候市民会議の多様な開催を考える・その3」（2024年4月19日）
- ・サイエンスカフェ@千里公民館「世代をつなぐ細胞の研究と未来」（2024年6月15日）
- ・第37回日本リスク学会 春季シンポジウム「AIのリスクを考える：生体認証技術から生成AIまで」（2024年6月21日）
- ・ワークショップ「バイオデジタルツイン技術を用いた未来の医療～もう一人の自分がいたら何ができる？」（2024年7月20日）
- ・ミニシンポジウム「ELSIから考える科学技術の世界と社会」（2024年8月23日）
- ・「細胞を創る」研究会17.0（2024年11月11-12日）
- ・セミナーシリーズ「つなぐ人たちの働き方（2024年度冬）」（2024年12月10日～2025年1月14日）
- ・2024年度 琵琶湖博物館 研究倫理研修「博物館の諸活動における倫理的・法的・社会的課題（ELSI）」（2024年11月28日）
- ・The 10th CiNet Conference: – Frontiers of Responsible Research and Innovation in Neuroscience -（2024年12月10-11日）
- ・日本のELSI／RRIの未来を拓く：「ELSI Hiroshima ワークショップ2025」（2025年3月17-18日）

協力イベント

3件

- ・サイエンスアゴラ in 滋賀「どうなる？どうする！？教育DX」（2024年12月8日）
- ・第2回「人工知能時代の芸術：創造性・影響・課題」シンポジウム（2025年3月7-8日）
- ・阪大院生ゼミナールカフェ vol.8 「本人と支援者の相互エンパワメントの可能性を探る～ソーシャルワーカーと院生の二足の草鞋で考える 障がい福祉の援助実践～」（2025年3月10日）

後援イベント

3件

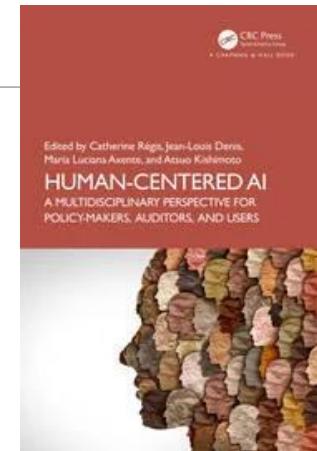
- ・「ブリュッセル効果への対応:日本企業はEU-AI法にどう備えるべきか」（2024年12月11日）
- ・「ブリュッセル効果への対応:日本企業はEU-AI法にどう備えるべきか2」（2025年1月15日）
- ・「ブリュッセル効果への対応:日本企業はEU-AI法にどう備えるべきか3」（2025年3月19日）



国際的活動

世界主要大学の連合体であるU7+での活動

- 2024年3月22日に書籍、" Human-Centered AI: A Multidisciplinary Perspective for Policy-Makers, Auditors, and Users" を刊行（岸本センター長が4人の編者のうちの1人）
- 2024年4月8日にケンブリッジ大学においてBook Launchイベントを開催
- 2024年12月に、U7+に、Artificial Intelligence Working Groupが新たに発足（岸本センター長が参加）



Horizon Europe採択プロジェクト「AIOLIA」への参画

- HORIZON-WIDERA-2024-ERA-01-12: Next generation AI and Human Behaviour: promoting an ethical approach 「Operationalizing AI Ethics for Learning and Practice: A Global Approach (AIOLIA)」 代表者：Alexei Grinbaum (フランス原子力・代替エネルギー庁 (CEA)) 2025年2月～2028年1月
- 大阪大学は20組織のうちの1つとして参加

国際的なネットワーク形成

- フランス ソルボンヌ・ヌーヴェル大学 (Sorbonne Nouvelle University) から、Alberto Romele 准教授、Eric Maigret 教授をはじめとする教員・学生22名が大阪大学ELSIセンターを訪問（2024年7月2日）
- 国際ワークショップ「科学的思考と未来パラダイム：AI時代の挑戦と可能性」（主催：大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門、フランクフルト大学クリティカルコンピュテーションナルスタディーズセンター、理化学研究所革新知能統合研究センター分散型ビッグデータチーム）（2024年5月17日）
- The 10th CiNet Conference: – Frontiers of Responsible Research and Innovation in Neuroscience –を共催（2024年12月10-11日）



国内外のELSIに関する研究・実践活動の最新動向を紹介する「ELSI NOTE」を公開。2024年度は **16本** を公開した。

ELSI NOTE No.39 パーソナルデータ利活用のためのリスクマネジメント（1）：プライバシー影響評価（PIA）の制度化 岸本 充生

ELSI NOTE No.40 Go Bold な研究開発を支える倫理審査のための申請書導入：mercari R4Dにおける取り組み 井上 真梨、肥後 楽、鹿野 祐介、鈴木 径一郎

ELSI NOTE No.41 量子技術のELSIを探る：文献レビュー 榎本 啄杜、長門 裕介、岸本 充生

ELSI NOTE No.42 実施記録：座談会「分子ロボットの未来2」見上 公一、河村 賢、和泉 佳弥乃、岩渕 祥璽、小島 知也、小塙 太資、佐藤 岳、丸山 智也

ELSI NOTE No.43 大阪大学における全学DX推進施策のリスクアセスメント：顔認証入場システムのケース 岸本 充生、田中 孝宣、水町 衣里、鈴木 径一郎、長門 裕介、カテライ アメリア、鹿野 祐介、井出 和希

ELSI NOTE No.44 点群バーチャル空間サービス及び点群バーチャル観光サービスに係るELSI論点の整理 山本 展彰、松岡 千紘、青木 大也、赤坂 亮太、三部 裕幸、福田 雅樹

ELSI NOTE No.45 RRI概念の発展小史：ELSIとの繋がりから理解する 榎本 啄杜

ELSI NOTE No.46 ファッションビジネスにおける「倫理」と語り：事例検討および質問紙調査 井出 和希、桐 悅史

ELSI NOTE No.47 教育データEdTechの導入とELSI対応のグローバル動向に関するインタビュー記録 若林 魁人、佐藤 仁、高橋 哲、加納 圭

ELSI NOTE No.48 イギリス規制ホライズン委員会：量子技術応用を規制する（日本語訳） 榎本 啄杜（原著者：イギリス規制ホライズン委員会）

発行物

ELSI NOTEの発行 2

国内外のELSIに関する研究・実践活動の最新動向を紹介する「ELSI NOTE」を公開。2024年度は **16本** を公開した。

ELSI NOTE No.49 日本における科学技術政策と学術政策との法制上の関係 宮島 貴大、山本 展彰、福田 雅樹

ELSI NOTE No.50 昆虫飼料の利用に関する認識と価値観：小学生に対する教育実践とアンケート調査による前後比較 鹿野 祐介、
井出 和希、岸本 充生

ELSI NOTE No.51 サイバーセキュリティリスクの定式化と非技術的要因に関する文献調査 岸本 充生

ELSI NOTE No.52 研究公正をめぐる議論動向②：WCRIステートメントの翻訳と動向の分析 鶴田 想人、伊沢 亘洋

ELSI NOTE No.53 ソーシャルメディア利用とコミュニケーション：高校生へのインタビュー記録 若林 魁人、大澤 康太郎

ELSI NOTE No.54 ブロックチェーンELSI（倫理的・法的・社会的課題）の予備的考察：概念の整理・ステークホルダー分析・
主要なELSI論点の抽出 金 信行、森下 翔



ELSIセンターが取り組む人材育成

琵琶湖博物館 研究倫理研修「博物館の諸活動における倫理的・法的・社会的課題（ELSI）」を共催

- 岸本 充生 センター長、水町 衣里 深教授、鈴木 径一郎 特任助教、鈴木 美香 講師が、研修担当講師として登壇（2024年11月28日実施）
- 博物館における諸活動において、どのようなELSIがあり得るかを考えるグループワーク



日本のELSI／RRIの未来を拓く 「ELSI Hiroshimaワークショップ2025」を共催

- 若手研究者を対象とし、次世代ELSI／RRI人材の育成を目指したワークショップを、広島大学共創科学基盤センターとともに開催（2025年3月17-18日実施）

開発した教材・ツールの活用

- インパクトアセスメントツール「モラルIT デッキ」を、ELSIセンターが連携して実施する授業や研修などで活用
- 動画コンテンツ「ビジネスパーソンのためのELSI入門 -データ利活用編-」を、鳥取県産業技術センターの研修教材として提供



プレスリリースなど

3件

- [プレスリリース 「NECと、顔認証技術の適正利用に向けたガイドおよびリスクアセスメント手法を策定しました。」](#) (2024年5月9日公開)
- [プレスリリース 「7月1日、大阪大学ELSIセンターに「メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所」を設立します。」](#) (2025年1月30日公開)
- [プレスリリース 「ELSI大学サミット開催のご案内～AIを中心とした倫理的、法律的、社会的課題の取り組みを産学官が発表～」](#) (2025年2月7日公開)

コメントなどが掲載された新聞記事やウェブメディア、ラジオ出演など 54件 以上

- 産経新聞「世にあふれる同意 重要なのに存在が軽くなる一方でいいのか」長門 裕介 特任助教 (2024年6月11日掲載)
- 読売新聞「生成AI考 中国の「人型」開発はロボット3原則と対立 中国 巨大な実験場 主戦場は「人型ロボ」」赤坂 亮太 准教授 (2024年7月10日掲載)
- 日本経済新聞（電子版）「欧米先行のAI規制、日本の対応急務 三部弁護士に聞く」三部 裕幸 招へい教授 (2024年9月10日掲載)
- NHKラジオ マイあさ！7時台「どうすべき？ 子どもとSNS オーストラリアでは禁止へ」工藤 郁子 特任准教授 (2024年12月23日放送)

など



広報活動

ウェブサイト、SNSの運用

-
- | | |
|---------------|---|
| ウェブサイト | https://elsi.osaka-u.ac.jp/ |
| | https://elsi.osaka-u.ac.jp/en/ |
| Facebook | https://www.facebook.com/ELSIosakaUniv/ |
| X (旧 Twitter) | https://twitter.com/ELSI_center |

